

## さびと湿気

- ◎ サウジアラビアの首都リヤドは沙漠の真中にあります。ここへ来て驚くことは、野積の鋼材が何年もさびずに砂ほこりを被っていることです。ついながら、ここのさびくは石が多いので、沙漠と書くより、水の少ない方の沙漠と書くのがピッタリします。
- ◎ 水が少なければさびないというわかりきった理屈を、これほど明瞭に実証してくれる所は数少ないでしょう。町外れの沙漠の所どころに、勿体ないような自動車やクーラーが山と捨ててあります、さびずにそのまま残っているから、何百年もたったら、サウジアラビアは石油の国ではなくて、鉄の国に変わるかも知れません。
- ◎ 水を遮ればよいということで、塗装という水を通しにくい被膜を鉄の表面につけるわけですが、通りにくいということは入りにくいと同時に出にくいことになります。密着性の悪い塗装は、鉄と塗膜の間にすぐ隙間を生じます。僅かのきずから浸み込んだ水はなかなか外へ出られず、さびを進行させ、ますます隙間を拡げていきます。
- ◎ 密着性の良し悪しは外観では分かりません。信頼できるメーカーが良心的に下地処理を行ない、塗料、塗装方法を充分研究しているかどうかを目安にする以外にないと思います。
- ◎ ネグロスは「信頼できるメーカー」という評価を頂けるよう日夜努力を重ねています。当社の最新塗装工場をご覧頂ければその一端をご理解頂けるかと思えます。(リヤドにて53年5月R.S)

R.S氏は当社の技術顧問ですが、約1年間の予定でこの4月以来日本政府派遣、サウジアラビア王国の技術顧問として同地に勤務中であります。

## パイラックはネグロスの登録商標

パイラックは、電気工専用資材の必需品になっています。その結果、試験問題に出されたり、参考書にのせられたりして、今では知らない人がない程有名になっています。

もともとパイラックは、戦後復興の植音高い昭和30年頃に、それまでは鉄骨に電線管を取り付けるときには、鉄骨に穴をあけたり、溶接したりしていたものを、穴あけ不要のパイラックとして、画期的な省力資材の一つとして売り出してきました。

以来20年、その間にパイラックは改善に改善を重ねて、多くのパテントとともに今なお改善を続けております。パイラックは年とともに進化し、決して同じものではありません。

パイラックは、その音感からくる明るい響きとともに、ネグロスの商標としては、最も代表的なものとして、これからも大切にしていきたいと思っております。